

ホント
だよ



私と ガーデニング

石井久子

その昔、ブルーベリーの苗木を購入してバルコニーで育て始めた。やがて、可憐な花が咲き、次第に実が色づき始めた。観賞用とはいえ、味見のために、少しばかり収穫することにした。その時を毎日のように確かめた。明日かしらと、胸をわくわくさせていた。当日、バルコニーに出てみると、なんと、鳥たちがすでにご賞味しているではないか。なるほど！鳥たちも実が熟する時を毎日確かめていたのだ。そして、実を端からきちんと食べるお行儀のよさに感心してしまった。今年も、もうすぐ鳥たちがやってくる季節を迎える。



経済学部助教授。
労働経済学と国際雇用論を担当。慶應義塾大学卒業後、日本IBM株式会社に勤務。新製品の開発プロジェクトに参加。その後、コロンビア大学大学院に留学。Ph.D.を授与。留学中は、各国の料理の食べ歩きを楽しんだ。帰国後、世界の料理の味を思い出しながら、創作料理を楽しむ。世界は美味で、面白い。もっと世界を探索してみたいか？

「オトシバナシ」は如何ですか。「若者にお年齢の話はないでしょう」「いえ落し話です」「合格したばかりの学生に落し話もないでしょう」「そうではなくて落語です」

落語も現代の若者には馴染みがないですかね。面白いですよ。さらに『落語と情報学』（拙著・青蛙房）では、落語だけでなく情報の勉強もできてしまいます。「こんなところで本の宣伝をしようとする」「ごもっとも」

お詫びに、タイトル借用の言葉遊びを一つ。

「学びとは／屁のごとしなり／いざやるも／なぜかつかめず／いつか消え去る」



オトシバナシ

石川弘道

